労山愛知

愛知県勤労者山岳連盟機関紙

２０１５年６月１９日発行

Ｎｏ．５１１（第４７期４号）

〒454-0055
名古屋市中川区十番町 2-8
栄和産業(株)ビル 2F
TEL/FAX　052-654-1210
http://aichirousan.web.fc2.com/

6 月 7 日(日)第 43 回　鈴鹿山系清掃登山

御在所岳に 885 人。ごみ 264.8kg。

6 月 7 日(日)、愛知県勤労者山岳連盟、三重県勤労者山岳連盟共催の第 43 回鈴鹿山系清掃登山が実施されました。

例年、御在所岳と藤原岳の二山域を清掃山域にしてきましたが、今年は御在所岳のみで実施しました。山に登ることを通して自然の大切さを実感し、ゴミを拾うことを通して自然保護、環境保護の必要性に気づく、そんな人たちの輪を広げる「誰にもできる自然保護の第一歩」として位置づけられた清掃登山、今年は会員、一般参加者含めて 885 名が参加、264.8kg のゴミを回収しました。御在所岳山頂はこれまでの清掃登山では経験したことのない濃いガスにおおわれましたが、12 時半から山頂部の朝陽台広場で山頂集会が開かれました。主催者代表としてあいさつに立った愛知県連の洞井理事長が、「清掃登山を始めた頃から比べると、参加者は飛躍的に増え、山のゴミははるかに少なくなってきているが、鈴鹿の山々のあちこちで、ササ枯れをはじめ、外来植物の繁茂によって生態系が壊されたり、登山道の崩壊が進んでいる。清掃登山を始めたときからこれまでの間に、山々の自然も、私たち登山者も、道具も登り方も大きく変化してきている。自然と私たち登山者との新しい関係を考えながら、さらに取り組みを進めていこう」と述べました。その後、三重県知事、菰野町長のメッセージ紹介がされ、山頂アピールを参加者全員の拍手で採択したのち、各コースに分かれて清掃を行いました。

ガスの中の山頂集会(2015.6.7　御在所岳・朝陽台にて)

≪目　次≫

	6/7　第 43 回清掃登山。御在所岳に 8885 人、ごみ 264.8kg	
巻頭言	日本を「戦争のできる国」にしないために	2
婦人部	第三回女性のつどい「実践！テーピング講座」	3
遭対部	5/29 第 2 回遭対担当者会議をひらきました	3
組織部	一般登山講座「基本から学ぶ安心登山 2015」終わる	5
	５月の会員数は微増、県連会員数推移	6
自然保護部	清掃登山の取り組みの集計について	7

巻頭言　日本を「戦争のできる国」にしないために

愛知県勤労者山岳連盟会長・理事長　　洞　井　孝　雄

各会でのネパール大地震の支援募金活動の報告がはいっています。マレーシアでも地震が起き、キナバル山では邦人登山者も一名が亡くなったという報道がされました。マレーシア国民の皆さんにお見舞いを申し上げるとともに、亡くなられた方々に哀悼の意を表します。

国会の「安全保障関連法案」の討議の行く末に関心が集まっています。他国を武力で守る集団的自衛権の行使容認を柱とした同法案は、6 月 4 日に開かれた衆院憲法審査会で、与野党から推薦された参考人の憲法学者三人全員が「憲法違反」だと表明しましたが、自民党政府は、「それを決めるのは学者ではなく政治家だ」と言い放ち、集団的自衛権について全く触れられていない半世紀も前の「砂川判決」を引っ張り出して、合憲だと強弁する論拠にしています。世論調査で、今国会での成立に反対する人が 8 割を超えていることが報道され、各地で「戦争法案関連法案反対」「集団的自衛権 NO」を訴える集会が開かれたり、元自民党幹部からも反対表明が出されているにもかかわらず、耳を貸そうともしていません。戦後 70 年目にして日本最大の危機だとも言われています。先月、「平和あってこその登山」であることをかみしめよう、と、この欄で述べましたが、もっともっと状況は切迫してきています。ひとりの登山者の立場からも、日本が「戦争のできる国」になることだけは、なんとしてでも防ぎたいものです。

さて、県連の一般登山講座が終わりました。6 回の理論講座、2 回の実技（鎌ケ岳、編笠山）が行われましたが、理論講座は平均で 90%を超える出席率、実技は 75%の参加率で、毎回活況を呈しました。この講座を受けた人たちが、これから安全で安心な登山を続けていくことはもちろん、かれらを各会で仲間に迎え入れることができれば嬉しいことです。

労山の大きな自然保護の取り組みである春の清掃登山が 6 月 7 日に実施されました。昨年まで藤原岳、御在所岳の二山域で実施していた山域をことしは御在所岳一か所に絞って実施しました。集計では一般参加者を含めて 885 名が参加、愛知県連からの会員の参加は 505 名と報告されています。今年は、バスをチャーターし、一般参加者と一緒に登る取り組みをした山岳会が三つに増えました。濃いガスの中にもかかわらず、山頂集会に参加し、清掃活動に参加していただいた多くのみなさん、お疲れさまでした。ただ、理由はわかりませんが、例年なら山頂集会町長もしくは商工観光課など菰野町関係者が集会へ参加するのですが、ことしはそれがなく、これまで 40 年以上にもわたって積み上げてきた自治体との関係がだんだんと希薄になってきているような感じを受けました。自治体の姿勢だけでなく、県連の自然保護部としての対外的な取り組み、運動としての清掃登山の位置づけが弱くなってきていることも指摘できそうです。

話が前後しますが、5 月下旬に自然保護部が藤原岳で取り組んだ外来植物（ハルザキヤマガラシ）の駆除作業には、県連から 73 人の仲間が参加し、山頂小屋周辺の一画の除去作業を行いましたが、作業は、全体の数％を抜いたに過ぎず、しかも抜いたものをすべて担ぎ下ろすことは困難で、もっと多くの時間と労力が必要であることが報告されています。繁殖状況の精査、駆除の効率的な方法、繁殖を抑える具体的な方策など、これからの喫緊の課題となりそうです。

夏山合宿を射程に入れた、確保技術講習会、救急救命法講習会、無雪期救助訓練などの予定が目白押しです。各会でも夏合宿の準備に入って忙しいことと思いますが、これらも、合宿のトレーニングの一環として位置づけ、多くの仲間の参加を促したいものです。

平和行進は、5 月 31 日に静岡県から引き継がれて愛知県内を行進し、6 月 11 日に岐阜県に引き継がれました。行進はこれから 8 月にヒロシマに、ナガサキまで、まだまだ続いていきます。

これ以外にも、労働者派遣法改悪、原発再稼働、沖縄辺野古基地新設、等々、私たちの生活の根幹を揺るがすような問題ひとつひとつに眼を向け、私たちの声をあげていきましょう。また、県連のさまざまな課題もあっていそがしい夏です。元気で乗り切りましょう。

婦人部　6／11 第三回女性のつどい「実践！　テーピング講座」

6 月 11 日(木)19 時から県連事務所で第 3 回女性のつどいを開きました。
今回のテーマは「実践！テーピング講座」。
　登山にとどまらず、足を保護したり、ケガを防止するためにテーピングをするのはとても重要なことです。今回は、実際に自分の膝・足首にテーピングをしてみよう、ということで、ホワイトテープ（非伸縮補強）・縮性テープ・キネシオロジーテープ・アンダーラップ・ハサミを準備しました。講座では、テープの切り方、張り方、はがし方などの基本を学び、ついで保護する箇所を想定して実際にテーピングをやってみました。

山筋ゴーゴー体操の冊子(DVD 付)をまとめて購入します。第 1 回は締め切りました。まだまだご希望の方は各理事さんを通じて辻村までお申し込みください。
次回の女性のつどいは 7 月 2 日(木)名古屋市東生涯学習センターの調理室で 19：00 からです。美味しい山の料理を実際に作ります。男性女性を問わずご参加お待ちしています。
申込：各理事又は木村・前田・矢澤（あつた）迄　　参加費：1,000 円

遭対部　5/29　第 2 回遭対担当者会議を開きました

　2015 年 5 月 29 日（金）19：30 から第 2 回遭対担当者会議を開き、11 山岳会 15 名が出席しました。【出席者】西尾・朝日（くらら）、尾崎・岩田（じねんじょ）、阿賀谷・石井（東三河）、千田（スルジェ）、水谷（ありんこ）、鈴木（みどり）、安（同志会）、嶋村（あつた）、安江・小井（ASC）、洞井（半田 F）、望月（ふわく）。
　議題は、①事故報告②直近の課題取組み強化③遭対担当者、救助隊要員の名簿・連絡網④その他。内容は以下の通りでした。

① 事故報告　4 件の事故報告。今期、合計で 5 件になりました。

No.2　転倒し、手首負傷
【日時】2015 年 4 月 12 日（日）8：10 頃
【山域・山名】箱根・芦ノ湖、三国山
【事故者】男性、73 歳
【負傷の程度】左手首裂傷（11 針縫合）
【事故の概要】三国山へ向う途中、海ノ平標識より 10 分くらいのところで転倒し左手首を裂傷。前日の雨のため、泥濘で滑りやすい登山道内に直径 2mほどの水溜りがあり、そこを飛び越えようと跨いだとき右足をとられて左側に倒れた。30ｃｍほどの木片がありその上に上体が左手首に覆いかぶさるかたちで倒れたため、木片の角で切り負傷した。応急処置のあと、山伏茶屋で再度傷を流水で洗い最処置したあと下山。当直病院を探し受診、11 針の縫合処置のあと帰宅。
▲指摘・反省など
・表皮剥離
・応急処置の際、ゴム手袋を使わなかった。三角巾を忘れていた。
・靴の研究も必要。

No.3　リードクライミングのシミュレーション中、肋骨にひび
【日時】2015 年 4 月 18 日（土）15：30 頃
【山域・山名】豊田市南山の広場
【事故者】女性、44 才
【負傷の程度】左肋骨の 1 本にひび
【事故の概要】登山学校の実技講習でリードクライミングのシミュレーションを受講生対象に説明中、リード役が立ち木に支点を作りながらロープを伸ばし、「今から落ちる」との合図してロープを引いた際に、セカンド役の事故者の体が引っ張られて木に衝突。左脇腹に一瞬痛みを感じたが、本格的に痛み出してきたのは実技終了後だった。後日レントゲン撮影、骨折が判明。
▲指摘・反省など
・県連登山学校での事故＝登山学校、講習会講座など、本来おこしてはならないところでの事故。実施主体としての責任の重さ。

No.4　倒木を跨ぐときに転倒、骨折

【日時】2015 年 5 月 4 日（月）10；20 頃
【山域・山名】北ア・槍ヶ岳
【事故者】男性、58 歳
【負傷の程度】左橈骨遠位端骨折
【事故の概要】滝谷から白出沢へ 50 分ほど下がった地点で倒木が登山道を塞いでいたため、それを跨ごうとして右足を引っ掛け、反対側によろけ転倒、カバーした左手を岩に殴打して負傷。痛みはあったがそのまま下山。時間の経過とともに腫れがひどくなり翌日受診した。骨折。ギブス固定。全治 1 ヶ月。
▲指摘・反省など
・事故防止について、通過時の三点指示などの注意が述べられているが、そういう技術的な問題だけでこうした事故は防げない。年齢や体の反応、動きの普遍的にある問題として、日常的にどう対応するか研究が必要ではないか。

No.5　登攀中、足を乗せた岩が崩落、墜落により足を骨折

【日時】2015 年 5 月 23 日（土）10；00 頃
【山域・山名】奈良県下北山村池原・石ヤ塔
【事故者】男性、29 歳
【負傷の程度】右足首の骨折
【事故の概要】事故者がリードで登攀中、ルート中のワイドクラック内の 50cm ほどのチョックストーンに右足を載せたところ、そのチョックストーンが落下し、事故者も 3m 落ちた。中間支点で止まったが、ロープの伸びによりテラスに右足を強打した。応急処置の後、同行者が事故者をザック担架で担ぎ（一部、自力歩行）下山。骨折。ギプス固定、全治 2 ヶ月。
▲指摘・反省など
・岩場が脆かった。
・フリークライミングにはよく行っていたが、アルパインクライミングの経験は少なかった。

（2）直近の課題取組み強化について
以下の行事の実施の確認と参加の呼びかけを行いました。

・確保技術講習会

【机上講座】2015 年 6 月 15 日（月）19：30～県連事務所
【講　師】森　和之（東三河山ぽ会、県連副会長）
【実　技】2015 年 6 月 21 日（日）滋賀県立比良山岳センター（げんき村内）人工登攀壁、雨天決行、前日からの宿泊可、応相談（要宿泊費）
【参加費】2000 円（施設使用料、ロープ代等の消耗費）
【申込み方法】①所属山岳会②氏名③住所④生年月日⑤遭対口数⑥血液型⑦電話番号⑧緊急連悪先を明記の上、理事、県連事務所まで郵送、FAX、e-mail で申し込む。締め切り最終は 6 月 15 日まで。

・無雪期救助訓練

【机上講座】2015 年 6 月 22 日（月）19：30～県連事務所
【講　師】洞井孝雄（半田ファミリー山の会、県連会長・理事長）
【実　技】2015 年 6 月 28 日（日）御在所岳、集合 7：30 裏道登山口
【申し込み】確保技術講習会と同じ

・救命救急法講習会

【日時・場所】2015 年 6 月 27 日（土）10：00～16：00 県連事務所
【講　師】今立由美子（大阪府連、看護師）
【参加費】1000 円
【持参するもの】三角巾、ストッキング、レジ袋、新聞紙（朝刊）、救急セット、テーピングテープ

夏山合宿遭対連絡会議

【日　時】2015 年 7 月 10 日（金）19：30～県連事務所
・計画書各 30 部持参

⑶遭対担当者の名簿・救助隊要員の名簿と連絡網について（
47 期に作成したものを各会に配布しました。

⑷その他。
参考資料として「遭難対策関係者が一堂に会して、初の“道迷い”シンポジウムが開催」（『山と渓谷』5 月号）の紹介。

組織部　愛知県連一般登山講座「基本から学ぶ安心登山 2015」終わる。

5月30日(土)実技Ⅱ／八ヶ岳・編笠山へ63人

2015.5.30　講座第２回実技(八ヶ岳・網笠山山頂にて)

４月 14 日に始まった県連盟の一般向け登山講座「基本から学ぶ安心登山 2015」には 61 名が受講、６回の理論講座と２回の実技を実施し、無事終了しました。

今年度の一般講座には 40 名の定員の 1.5 倍の 61 名が受講。今回の講座は欠席者が少なく、理論講座は６回とも平均で 90%を超える出席率、実技は二回とも 75%を超える参加率でした。

５月 30 日には、５月 16 日の鈴鹿・鎌ケ岳に次いで二回目の実技が八ヶ岳の編笠山（2523.7m）で実施され、受講生 47 人、スタッフ 16 人、計 63 人が参加しました。早朝、金山駅前に集合した参加者は、マイクロバス三台に分乗して小淵沢ＩＣから観音平へ。よく晴れて、駐車場へ向かう途中から富士山の姿が。観音平の駐車場も手前の路肩も車でいっぱい。7 パーティーに分かれた登山講座実技の参加者は、それぞれに PL、SL の指示のもと、編笠山を目指しました。雲海の展望台、押手川を過ぎて、全員が山頂に立ったのは 13 時 40 分、360 度の眺望を満喫したあと、下山開始。17 時半に全員が観音平に下山。少し帰りが遅くなりましたが、講座の制約上、朝の集合時間を早められないことがネックですが、受講生にとっては標高、距離、ロケーションなど、登山の入門の実技としてはなかなかいいフィールドで、捨てがたい山域でもあります。

二回の実技を終えて、それぞれ受講生にレポートを課しました。提出率はそれぞれ 75%前後で延べ 71 通が提出されましたが、実技の中で、地図読み、パーティー行動、歩き方、行動食、雨具などの装備…その他、さまざまな理論講座の内容を実際に歩きながら検証しようとしている真摯な姿勢がうかがわれるものが大半でした。登山ブームといわれていますが、一方で、これだけ多くの人たちが、こうした登山講座など、基本的な知識・技術を学ぶ機会を欲しているのは、やはり、私たち山岳団体が、十分に情報発信できていないことの裏返しでもあります。

組織部主管のこの一般登山講座、こうした登山の基本的な知識・技術を学んでもらおうという本来の意義とともに、できれば受講者を仲間に迎え入れたい、組織したいというもうひとつの思いを、これからどのように結実させていくかが課題となります。

なお今回の講座には１５山岳会から３９人（延９２人）の仲間の協力をいただきました。

労山旗、岐阜県に渡しました

６月１１日、「２０１５年平和行進」の労山旗を岐阜県に渡しました。
５月３１日に静岡県から引継ぎ、１２日間の愛知県内の行進をしました。

この行動には１０山岳会延べ４７人の会員が参加し、「平和あってこその登山」をアピールしました。

労山旗はナガサキ・ヒロシマに８月にゴールするまで、各県を引き継がれていきます。

6/13 現在、県連組織部で把握できた各会の延参加者は、東三河（２）、くらら（７）、スルジェ(11)、おやこ（８）、春日井峠（５）、みどり（５）、じねんじょ（３）、半田（１）、ふわく（１）、犬山マップ（４）です。

５月の会員数は微増－「プラス１運動」

県連全体では８名の入会、６名の退会で差し引き２名の増でした。「登山講座」の受講者からの各会への接近も想定される時期です発信力を強め仲間を迎え入れましょう。

県連盟組織数推移（2015. 3～5）

加　盟　団　体	2015 年3月末現在 在籍会員数			4 月末現在 在籍会員数			5 月末現在 在籍会員数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
あつた勤労者山岳会	34	31	65	34	31	65	34	31	65
アリス山の会	3	4	7	3	4	7	3	4	7
犬山勤労者山の会マップ	19	29	48	19	29	48	20	29	49
おやこ山の会	3	6	9	3	6	9	3	6	9
春日井峠の会	23	20	43	23	20	43	22	20	42
かわせみ山楽会	7	3	10	7	3	10	7	3	10
じねんじょ山の会	32	26	58	32	27	59	32	27	59
スルジェ山の会	15	17	32	15	17	32	15	17	32
ちんぐるま	5	0	5	5	0	5	5	0	5
東海山岳会	29	7	36	29	7	36	28	8	36
名古屋ありんこ山岳会	21	17	38	21	17	38	20	17	37
名古屋 ASC	21	12	33	22	13	35	22	13	35
名古屋山岳同志会	58	40	98	57	44	101	57	44	101
名古屋山歩会	17	6	23	17	6	23	17	6	23
半田ファミリー山の会	32	46	78	33	47	80	33	47	80
東三河山ぽ会	81	89	170	85	91	176	86	91	177
低い山を楽しむ会	9	6	15	9	6	15	9	6	15
ふわく山の会	109	110	219	109	110	219	111	110	221
みどり山の会	9	23	32	9	24	33	9	24	33
山の会「くらら」	38	30	68	39	30	69	41	30	71
若駒山岳会	11	9	20	10	9	19	10	9	19
合　　計	576	531	1107	582	541	1123	583	543	1126

７月９日、第三回組織担当者会議を開きます

７月９日（木）　午後７時３０分～　県連事務所で開きます。議題は、

①　「プラス１運動」について

②　「一般向登山講座」のまとめ

③　「平和行進」のまとめ　④その他　を予定しています。

5/21 第二回組織担当者会議を開きました。

５月２１日（木）、県連事務所で第二回組織担当者会議を開きました。

10 山岳会から 12 名が出席しました【出席者：北川（くらら）、江島（じねんじょ）、洞井　小栗（半田）、本田　村田（スルジェ）、亀井（同志会）、白水（かわせみ）、大石（アリス）、伊藤（マップ）、加藤（あつた）、弘中（峠）】。

主な討議内容は次の三項目でした。

①　「プラス１運動」について、各会の取り組み状況の報告とこれから

県連の会員数推移の状況確認と各会の取り組みの報告。5 月は微増。出席山岳会すべてが、「仲間を迎え入れたい」と考えている。そのためにも「プラス１」の取

り組みの意味と、いっそうの外に向けての情報発信を徹底したい。

② 「基本から学ぶ安心登山」の実施状況と今後の取り組み

講座も折り返し地点(5/21 時点)にきた。定員 40 名に対して 61 名の受講。盛況だが、これらの受講者をどう仲間に迎え入れるか､各会とも積極的なアプローチを。ここでは、受講者を各会の会員になってもらうことも大事だが、そうした人たちを組織化して山岳会を立ち上げるなどの取り組みも提起できないか、という指摘も。

また、過去の登山講座を通して、何人くらいの受講生が各山岳会に入会したのか、ということについての追跡調査もしてほしいとの意見が出された。

③ 「２０１５平和行進」への参加について

行進スケジュールはすでに各会に送付済み。参加した際に、備え付けの労山の連絡ノートに記入をお願いしたい。できれば、各会の参加スケジュールを把握したい。

自然保護部　清掃登山の取り組みの集計について

清掃登山の取り組み、お疲れさまでした。
各会の参加状況、ゴミの集計結果は以下の通りです。

	参加者数	下山(清掃)ルート	ごみ(kg)		
			可燃	不燃	合計
あつた勤労者山岳会	42	中道・裏道	3.5	1.6	5.1
アリス山の会	4	中道	0.1	0.1	0.2
おやこ山の会	10	一の谷新道	0.1	0.2	0.3
春日井峠の会	18	裏道	3.6	1.5	5.1
かわせみ山楽会	3	一の谷新道	0.4	0.3	0.7
じねんじょ山の会	45	裏道	4.4	3.3	7.7
スルジェ山の会	19	裏道	1.5	1.0	2.5
東海山岳会	15	裏道	41.7	93.9	135.6
名古屋ありんこ山岳会	14	裏道	0.5	6.3	6.8
名古屋 ASC	19	裏道	6.3	11.2	17.5
名古屋山岳同志会	42	裏道	3.2	9.4	12.6
名古屋山歩会	7	表道	0.8	2.2	3.0
半田ファミリー山の会	66	裏道・武平	1.8	0.8	2.6
東三河山ぽ会	29	国見尾根	1.5	1.4	2.9
低い山を楽しむ会	4	裏道	0.3	0.8	1.1
ふわく山の会	71	裏道・中道	12.2	15.2	27.4
みどり山の会	18	裏道	5.0	2.1	7.1
山の会「くらら」	43	中道・武平	5.3	8.4	13.7
若駒山岳会	11	一の谷新道	0.8	0.8	1.6
三重山好会	25	裏道	0	0.6	0.6
要員	27		3.3	2.4	5.7
一般参加(ロープウエイ)	200				
一般参加(表、中、他)	149		2.3	2.7	5.0
菰野町職員	4				
合　　計	885		98.6	166.2	264.8

Schedule 2015

2015年6月			7月			8月		
1	月		1	水		1	土	
2	火	一般登山講座まとめ	2	木	女性のつどい４	2	日	
3	水	教育担当者会議２	3	金	理事会９	3	月	
4	木	清掃登山実行委６	4	土		4	火	
5	金	理事会７	5	日		5	水	
6	土		6	月	登山学校理論 14	6	木	
7	日	第 43 回清掃登山	7	火		7	金	理事会 11
8	月	登山学校理論９	8	水	教育担当者会議３	8	土	
9	火		9	木	組織担当者会議３	9	日	
10	水		10	金	夏合宿遭対連絡会議	10	月	
11	木	女性のつどい３	11	土	登山学校実技 M6C7	11	火	
12	金		12	日	登山学校実技 M6C7	12	水	
13	土		13	月		13	木	
14	日	登山学校実技Ｃ４	14	火		14	金	
15	月	登山学校／確保技術	15	水		15	土	
16	火		16	木		16	日	
17	水		17	金	理事会 10	17	月	登山学校研修 M 打合
18	木		18	土		18	火	
19	金	理事会８	19	日		19	水	
20	土		20	月		20	木	
21	日	確保技術講習会	21	火		21	金	
22	月	無雪期救助訓練机上	22	水		22	土	
23	火		23	木		23	日	登山学校実技 M7C8
24	水		24	金		24	月	
25	木	自然保護担当者会議	25	土		25	火	
26	金		26	日		26	水	
27	土	救命救急法	27	月		27	木	
28	日	無雪期救助訓練	28	火		28	金	理事会 12
29	月	登山学校理論 13	29	水		29	土	登山学校 M 研修山行
30	火		30	木		30	日	登山学校 M 研修山行
			31	金		31	月	

４月から６月にかけては、県連の登山学校と一般向けの登山講座が並行して実施されているので、スタッフやコーチをお願いしている仲間は、理論講座は週二回、実技は土曜、日曜と連続して山行、という週も少なくありません。加えて、専門部や理事会のメンバーであったり、会運営に携わっていたりするような場合には一週間パーフェクトで、ヘタをすれば本業よりも忙しい（？）というひとも。

でも、大変だ大変だ、と言いながらも、登山に取り組み、こうした日常を送れるのは、やはり「平和」であるからこそ。集団的自衛権の容認を正当化するための法案が出されて、それが違憲であることを指摘されてもなお、合憲であると言い張る政府与党の姿勢が連日報道されています。巻頭言で述べられたように、日本が「戦争のできる国」になってしまったら、権利としての登山も、文化・スポーツとしての登山も、忙しい毎日も奪われることになります。なんとか阻止したいものです。

ご意見、ご用望・投稿などはメール、または県連事務所あてに郵送してください。

http://aichirousan.web.fc2.com/　　e-mail:aichirousan@gmail.com